

### 新人紹介 新しいまちや施設、道路ができました

平成の大合併が進展

- ・昨年10月 みなべ町 ・4月 海南市、串本町 ・5月 田辺市、日高川町
- ・10月 新宮市、かつらぎ町 ・11月 紀の川市
- ・来年1月 紀美野町、有田川町 ・3月 橋本市、白浜町

約1,600の町村が、明治・昭和の大合併を経て50に、さらに今回の合併により、30市町村になります。

**1月** 県立情報交流センターBig-U(田辺市)オープン  
県南部でITに気軽に親しめる拠点施設として、また「紀南図書館」「教育センター学びの丘」「和歌山大学紀南サテライト」が教育と学習の拠点として、予想を大きく超える来場者でにぎわっています。

**3月** 国道168号本宮道路(奈良県との県境までの約1kmをトンネル等で直線化)開通  
街路 南港山東線(和歌山市中島地下道によりJR紀勢本線と4車線立体交差化)開通

**4月** 県立医大跡地に誘致した「モンティグレ・ダイワロイネットホテル和歌山」がオープン 新たに235人の雇用を創出

構造改革特区の認定を受けた幼稚園と保育所の合築施設「ムーミン谷こども園」(橋本市)が開所  
合同保育、県内初の病後児保育、地域子育て支援センターなどの多様なニーズに対応しています。



**5月** 誘致企業のライズシェアが橋本市に大型コールセンターを開設

**6月** 国道424号打田桃山バイパス(紀の川市桃山町元～旧打田竹房 約1.3km)開通  
街路 湊神前線(和歌山市堀止交差点～神前の東西幹線道 4車線化)開通

**7月** きのくにIT人材バンクを開設し、求職者と県が誘致したIT企業との橋渡しを実施  
知的障害者通所授産施設「パン工房サンフルひだか」(日高町) 10月には「夢あじさい」(橋本市)「たんぼば作業所」(紀の川市)開所

**8月** 国道480号須谷バイパス(有田市原宮町～吉備町田口 約1.5km)開通

**9月** 構造改革特区の認定により、定員基準(4人以上)を緩和した全国初の定員3人の指定グループホーム2カ所開所(田辺市、みなべ町)

**10月** ぶらくり丁周辺を対象とした構造改革特区での出店第1号として「ドン・キホーテ」が手続きの簡素化により届出後20日(通常8カ月)で開店(和歌山市)

県自閉症・発達障害者支援センター「ポラリス」(和歌山市)開所  
県内初の身体障害者グループホーム「クローバー」(上富田町)の開所  
精神障害者小規模通所授産施設「キッチンつむぎ」(和歌山市)オープン  
県内初の介助犬「北斗号」誕生

### 他にもいろいろありました

**4月** 9月末に廃止が予定されていた南海貴志川線は、沿線住民や地元自治体等の熱意により、存続が決定  
来年4月からは、「和歌山電機株式会社」としてスタートします。

**7月** 日本初! 翼を広げた鳥形埴輪を発見(紀伊風土記の丘)

**9月** 子育て大賞決定! 子どもが5人以上の明るく楽しい家庭を表彰  
知事賞3家庭 特別賞12家庭 推薦家庭数67家庭でした。



### 千客万来 これからもつながりを大切にします

**3月** 大阪ガス、J-Tが「企業の森」活動を開始 10月にはイオンも植栽を実施  
「企業の森」は、県内の豊かな自然に親しみながら地域と共に森林保全に参画してもらおう制度で、さらに住友金属工業和歌山製鉄所、連合和歌山、サントリー、東京海上・日動火災保険、紀陽銀行、セイカグループも参画を表明し、これで参加企業は16団体となりました。



**4月** コルンバ・ブッシュ フロリダ州知事夫人が芸術や経済の交流のため来県

**7月** 皇太子殿下が「第41回献血運動推進全国大会」にご臨席のためご来県  
世界遺産の那智の滝や熊野古道、また、みくまの養護学校や南方熊楠記念館などを視察されました。



**8月** 女優の藤原紀香さんが和歌山で写真展を開催  
写真展は内戦のあったアフガニスタンやカンボジアでたくましく生きる子どもたちを描いたものです。  
戦後60年を機に県出身の元陸軍少尉小野田寛郎さんと木村知事が対談

**9月** 文楽史上初! 現地公演  
道成寺で文楽「日高川入相花王」の鑑賞会が開催されました。人間国宝の吉田義助さん等が出演し、約700人が鑑賞しました。



### ご存じでしたか ご利用ください

**3月** 電子申請システムが稼働し、自宅等からインターネットを利用して申請、届出が可能に  
県内の障害者が作ったオリジナル製品や委託業務のカatalogを県が初めて作成  
振興局健康福祉部やホームページで紹介しています。



**4月** 海南湯浅道路(海南IC～吉備IC)が「海南湯浅道路」から「阪和自動車道」に名称変更  
料金値下げ(普通車で通行料金930円から500円)とETC割引の効果により、交通量が対前年4月比で約13%も増加しました。



河西緩衝緑地東松江緑地開園(和歌山市)  
園内(サッカーコート約8面分)には、散策等に利用できる園路や多目的利用の芝生広場、幼児や児童のための遊具や休憩スペース、トイレがあります。

バスポートセンターで旅券の日曜日交付を開始  
日曜日消費生活相談スタート(架空請求110番)  
10:00～16:00 ☎073-433-1551

**7月** 医療機関選択に役立つ「わかやま医療情報ネット」運用開始  
関連記事が9ページにあります  
県内の9割にあたる約1600の医療機関が登録。7月だけで16,000件のアクセスがありました。

**10月** 県内に在学している外国人留学生・就学生を対象に県立近代美術館、博物館、紀伊風土記の丘、自然博物館の4施設の入場料を無料化  
以前から65歳以上、障害者、高校生以下も入場料は無料です

**11月** 県や企業等で職場実習し、就労につなげる「障害者就労インターンシップ事業」を実施 関連記事が4ページにあります

# わかやま2005

## 和歌山のこの一年を振り返ってみました

### ふるさと和歌山の恵みをお届けします

- 1月** 鯨肉を使用した学校給食が復活  
県内の小・中学校などで給食に使用され、伝統ある食文化の継承を行っています。また、5月には東京で鯨給食の試食会を開催しました。
- 2月** “果樹ある王国わかやま”ますます充実  
2月 木村知事、北海道で「蔵出しみかん」トップセールス 日本一の生産量を全国にPRしました。  
9月 日本一のレモン産地をめざして、「和歌山レモン生産振興セミナー」を開催 135人が参加  
10月 柿酢の健康機能検査結果を公表  
飲用により高血圧の方の血圧を下げる事が明らかになりました。



**7月** 将来のIターンにつながる「和歌山ほんもの田舎体験」を実施  
団塊の世代を対象に、農作業や地元住民との交流会を行いました。(10月までに、日置川町、那智勝浦町、古座川町、美里町、野上町で実施)



体験を通じて漁業の担い手づくり「漁師への道プログラム」開始  
・紀の海インターンシップ交流プログラムで県内外から37人の高校生や大学生等が漁業就業体験を行いました。  
・漁師への道支援プログラムで5人の研修生に10月から3カ月の漁業実践研修を行っています。

**9月** 愛・地球博の「和歌山県の日」で県の魅力情報発信  
EXPOホール、愛・地球博広場においてデューク更家さんらと和歌山ゆかりの方が、自然や歴史、文化、特産物を参加者約5,000人にアピールしました。

**10月** 「ほんまもん体験」で関東から初の修学旅行生来県  
全国から集まった若者に農業研修をする「鄙の里塾」開講  
人材派遣会社「パソナ」、町、JA等と連携し、10人が、半年間清水町と日高川町で農業研修を受けています。



平成13年の開設以来、「ふるさと和歌山わいわい市場」が売上累計1億円突破

**11月** ラムサール条約登録  
串本沿岸海域が世界最北の大サンゴ群生地として登録されました。  
香港の高級スーパー「シティ・スーパー」の主要4店舗で和歌山フェアを開催  
そのほかにも国内では大手スーパーなどを通じ、県産品の販路拡大に取り組みました。



### これからも大きくステップアップ 世界遺産登録から1年

- 3月** 熊野健康村構想をさまざまな取り組みを通して推進  
熊野健康村構想とは熊野古道や温泉、森林など地域資源を癒しや心身の健康増進に活用し、都市との交流を拡大することにより地域の活性化につなげようとするものです。県の健康調査でも、ストレスの軽減や免疫力向上の効果が実証されました。3月には推進フォーラムを開催し、その後、健康効果の検証結果報告会(東京)や語り部研修会(田辺市)、ホームページの開設等も行いました。
- 4月** 「和歌山県世界遺産センター」を日本宮町役場内に設置
- 5月** 世界遺産の森林を守る基金事業創設  
インターネットからの募金も可能とし、ホームページを通し全国へPR中です。
- 7月** 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一体的な保存と活用のため、世界遺産条例を施行  
7/7は県世界遺産の日  
7/1～7は県世界遺産週間  
登録一周年記念イベントを実施  
9月には、熊野川川舟下りの運行が実現



### 備えあれば憂いなし 災害や病気、食の危機管理を強化

- 3月** 食の安全・安心・信頼確保のためのアクションプランを策定  
このアクションプランは、平成19年度までの3年間に、消費者・事業者とともに行政が取り組む内容をまとめた行動計画です。
- 4月** 民間企業との協働により充実  
・県遊技業協同組合や県測量設計業協会との災害支援等の協力に関する協定を締結しました。  
・全国初! ローソンと健康協働モデル事業を実施し、健康増進を啓発しました。(7月)
- 5月** HACCP導入衛生管理施設(県食品衛生管理認定制度)の認定第1号に紀州農園を決定  
HACCP...原材料の調達から製品に至るまでの危害を分析し、それを防止する工程を管理することにより、食品の安全を確保する衛生管理の方法
- 7月** 県の主要な中小河川において、住民避難の目安となる「特別警戒水位」を設定  
台風14号来襲時、住民の自主的な避難の目安となりました。また、河川・雨量情報を従来のインターネットに加えて携帯端末にも情報を提供しています。  
県内沿岸市町が一斉に大規模津波・防災訓練を実施
- 9月** 自主防災組織の担い手である地域防災リーダーの育成「紀の国防災人づくり塾」開講  
アスベスト(石綿)問題に対する相談窓口設置と条例の改正  
関連記事が10ページにあります
- 10月** 専門の看護師(必要に応じて医師)による「子ども救急相談ダイヤル」(#8000)開始 関連記事が9ページにあります  
東南海・南海地震を想定した初の大規模な図上訓練を含む近畿府県合同防災訓練開催
- 12月** 県立医科大学附属病院を「総合周産期母子医療センター」に指定  
関連記事が1ページにあります

